

【12月・2歳児・高月齢】

ほいくのおまもりプラス

	Aさん(高月齢/男児/活発) (3歳8カ月/4月生まれ)	Bさん(高月齢/女児/活発) (3歳7カ月/5月生まれ)	Cさん(高月齢/男児/静か) (3歳6カ月/6月生まれ)	Dさん(高月齢/女児/静か) (3歳5カ月/7月生まれ)
子どもの姿	1.ズボンや靴下など、自分で着脱しようとする意欲があり、少し難しい時には保育者に助けを求める姿が見られる。 2.体を動かす遊びが好きで、友だちと一緒にかけっこをしたり、園庭で走り回るのを楽しんでいる。 3.クリスマスの飾りに興味を示し、一緒に保育者に「これ、何?」と尋ねる姿が見られる。	1.登園時に母と離れるのを嫌がる日が見られるが、お気に入りのタオルを持っていると安心して部屋に入ることができる。 2.お絵描きや折り紙などの制作遊びに積極的で、特に朝夕の合同保育では小さいクラスの友だちに優しく教えようとする姿が見られる。 3.思い通りにならないことがあると、友だちに対して癇癪を起こすことがあるが、保育者が間に入ることで落ち着き、再び遊びに戻るることができる。		
ねらい	1.自分で着脱しようとする 2.身体を動かす楽しさを味わう	1.自分から母と離れ、スムーズに登園する 2.制作遊びを通じて、友だちとの関わりを楽しむ		
内容	1.保育者に見守られながら、ズボンや靴下を自分で履いたり脱いだりする。 2.保育者や友だちと一緒に走ったり、園庭で遊びながら、身体をのびのびと動かす。	1.お気に入りのタオルを活用し、安心感を持って登園できるようにする。 2.クレヨンや折り紙を使いながら、友だちと一緒に制作遊びを楽しむ。		
環境構成 配慮 援助	1.保育者は「こっちの足もトンネルできるかな?」と声掛けしながら、ズボンや靴下の履き方を知らせていく。難しい部分をサポートしながらも、できるだけ本人のペースを尊重し、達成感を味わえるようにする。 2.園庭や広いスペースで自由に走り回れる環境を提供し、「速いね!」「もう一周行ってみようか!」など声を掛け、楽しく体を動かせるように誘う。友だち同士でかけっこや追いかけっこをする際は、安全面に配慮しながら見守る。	1.朝の登園時には、お気に入りのタオルをすぐに手に取れるようにロッカーに用意しておき、「タオルと一緒に遊びに行こうね」と声をかけて安心感を持たせる。母と離れにくい時は、無理せず時間をかけて気持ちが落ち着くのを待つ。 2.友だちと一緒に制作遊びを楽しめるよう、簡単な見本を置いたり、必要な道具を用意する。友だちと楽しんでいる様子を見守りながら「みんなで作るともっと楽しいね」等と声掛けし、自然にコミュニケーションが取れるよう促す。		
食事	・野菜を食べることに抵抗があり、口に溜めてしまう時があるため、「一口食べてみようか?」と声を掛け、少しずつ食べることができるよう援助する。 ・好きな食材も一緒に食べるように勧めることで、楽しい雰囲気の中で食事ができるよう工夫する。	・おかわりを進んでしており、食器を持ち上げたりしながら保育者に要求する場面も増えてきた。 ・自分で食事を楽しめるよう、食器の持ち方やスプーンの使い方を丁寧に見守りながら必要な援助をする。		
家庭との連携	3.家庭でもクリスマスに関連した話題や飾りについて会話を楽しんだり、季節の行事を共有していけるように、本児の関心に寄り添った話題のきっかけをつくる。 ・寒さが厳しくなり、風邪やインフルエンザなどの感染症が心配される季節のため、家庭でも手洗いやうがい習慣を継続し、体調管理に気を配ってもらうように連絡をする。	3.癇癪を起こすことがあるが、保育者が仲裁すると落ち着くことができている。家庭では癇癪を起こした際にどのように対応しているか聞きながら、落ち着いて過ごせるような環境を伝えていく。 ・年末年始の休みに向けて生活リズムが乱れやすい時期のため、休み中の睡眠や食事のリズムについて配慮をお願いする。		
評価・反省	1.ズボンや靴下を自分で履こうとする意欲が見られ、保育者がサポートすることで少しずつできることが増えている。引き続き、本人のペースを大切にしながら、見守りと援助を行いたい。 2.友だちと走り回ったり、体を動かす遊びを楽しんでいる。これからも園庭での遊びを中心に、身体を使った活動を取り入れ、楽しみながら成長を促していきたい。	1.母と離れる際の不安定さはまだ見られるが、お気に入りのタオルを持つことで少しずつ安心感が高まっている。引き続き、安心できる物の活用をしながら、母と分離する際の関わりを大切にしたい。 2.制作活動では、友だちと一緒に楽しむ姿が増えてきたが、道具を使った後の片付けはまだ苦手な様子が見られる。片付けも遊びの一部として楽しめるよう、「片付けごっこ」等の活動を取り入れていきたい。		

無料版:2名分
↓
有料版の
"おまもりプラス"
は12名分が
閲覧&DL可能!

子どもの姿の1, 2は「ねらい/内容/環境構成・配慮・援助/評価・反省」、3は「家庭との連携」と連動しています。

敬称と性別表記:ウェブサイトに当社方針を記載しております。

ほいくのおまもり **Plus!**

ダウンロードのお礼とおまもりプラスについて

この度は個人案をダウンロードいただき、ありがとうございます！

ほいくのおまもりプラスでは、**性別／タイプ別／月齢別の12名分の個人案（0,1,2歳児）**をご用意しています。更に・・・

- **無料版の2倍の月案文例**
- 丸1ヶ月分の月～金の全ての週案
- 毎月45個の製作型紙
- 毎月2つのスケッチブックシアター
- その他、会員だけのコンテンツ

これだけ揃って、**月額980円+税**の大特価！気になる人は、以下からおまもりプラスのサービスを確かめてみてくださいね。



文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー＆ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。